



9月30日(火) 移動献血車が来村します！

～広げよう、献血の輪！～

病気やケガで輸血を必要としている方がたくさんいます。ぜひ皆さんの善意の献血にご協力をお願いします。移動献血車の来村日程は下記のとおりです。

献 血 場 所	時 間
三進金属工業(株)福島工場	10:00～10:45
ひらた中央病院	12:30～14:00
新電力開発(株)平田事業所	14:30～15:15
平田村役場	16:00～17:00

けんけっちゃん



<400mL献血の採血基準>

	男性	女性
年 齢 ※1	17～69歳	18～69歳
体 重	男女とも50kg以上	
血色素量 (g/dl) ※2	13.0以上	12.5以上

※1 65歳以上の方については、献血者の健康を考慮し、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

※2 献血前に血色素量を測定し、基準を満たした方に献血をお願いしています。

献血の際はラブラットアプリをご利用ください。令和8年1月以降は献血カードの発行・更新ができません。ぜひ「アプリ」をご利用ください。

※事前にアプリで会員登録し、献血当日に「事前問診回答」まで事前に入力すると、時間の短縮になります。

アプリのダウンロードはこちら！

iPhoneの方



Androidの方



9月10日から9月16日は自殺予防週間です

職場や家族、友人に関する悩みを抱えているなら、ひとりで抱え込まずに相談してみませんか。

◎心のけんこう相談会 ※要予約

実施日	時 間	場 所
9月10日(水)	午後1時～4時	平田村役場
11月26日(水)	午後1時～4時	平田村役場

・専門の心理士が相談に応じます。相談は無料です。秘密は厳守します。

・ご予約は、役場健康福祉課(55-3119)までご連絡ください。

◎心に関する相談窓口

相談窓口	電 話
平田村役場(健康福祉課)	55-3119
こころの健康相談ダイヤル	0570-064-556
福島いのちの電話	024-536-4343



なんとなく心がもやもやしたり、ざわついたりするそれは心のSOSかも？

相談窓口はこちらから





ひらた中央病院
坂本 和太 医師

わかりやすい!大腸についてQ&A

Q.大腸ってどんな臓器なの?

A.食べ物の通り道は食道→胃→十二指腸→小腸→大腸→肛門となり、その中でも大腸は、盲腸→上行結腸→横行結腸→下行結腸→S状結腸→直腸に区切られます。

大腸の主な役割は、水分を吸収することです。小腸で消化吸収された食物の残りは、大腸で水分を吸い取られ、肛門に至るまでにだんだんと固形の便になっていきます。

Q.大腸の注意すべき症状にはどんなものがあるの?

A. 便に血が混じる、腸が狭くなることによる便秘や下痢、便が細くなる、残便感、おなかが張るなどの症状があります。

これらの症状は痔などでも起こりますが、中には進行性の病気のこともありますので自己判断せず、気付いたら早めに身近な医療機関を受診しましょう。

Q.大腸の検査にはどんなものがあるの?

A. 医師診察のほか、便潜血検査、採血、レントゲン、CTスキャン、バリウム検査、大腸カメラ、カプセルカメラなどがあります。

Q.大腸がん検診は受けたほうがいいのか?

A. 受けたほうがいいです。まずは便潜血検査をおこないます。自身の出た便を綿棒で採取し提出するもので、引っかかった場合、何かしら病気が隠れている場合があります。もちろん、病気ではなくたまたま血液がその日だけ混じっていた、ということもありますが、どんな病気であれ早期発見・早期治療が大切ですのできちんと検査したほうが安心です。

Q.大腸カメラは大変なの?

A. 前処置として、下剤を飲んで腸の中を空っぽにします。当日は内視鏡(筒状の長く軟らかいカメラ)を肛門から挿入して、大腸全体を詳しく調べます。病変が見つかった場合は、その組織を採取して顕微鏡検査を行います。検査自体は通常15～30分で終了します。ご希望に応じ、麻酔薬を使用して寝ている間に行うことも可能です。

「がん検診」や「大腸カメラ」と聞くと、どうしても身構えてしまう・不安になるなどの気持ちはよくわかります。ですが、先にも述べた通り **どんな病気であれ早期発見・早期治療が大切**ですので、ぜひ検診・検査を受けるようお願いいたします。

